

6

津波から身を守る

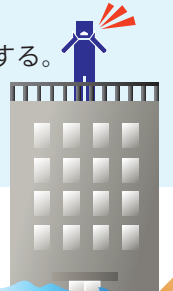
.....『あわてず』に、『直ちに高台』に避難.....

津波は地震発生後、あっという間にやってくる場合があります。海岸や海岸周辺、河川の河口付近では、強い地震や長い時間の揺れを感じたら、津波警報の有無に関わらず、直ちに高台など安全な場所に避難しましょう。

津波に対する心得

海岸近くで地震を感じたら直ちに避難

- ・強い地震（震度4程度以上）や長い時間の揺れを感じたら、**直ちに高台などの安全な場所へ避難**する。
- ・避難するときは、「より遠く」よりも、「より高い」場所を目指して避難する。
- ・警報や注意報が解除されるまでは海岸に近づかない。
※荷物を取りに戻ったり、様子を見るために海岸へ近寄ってはけません。

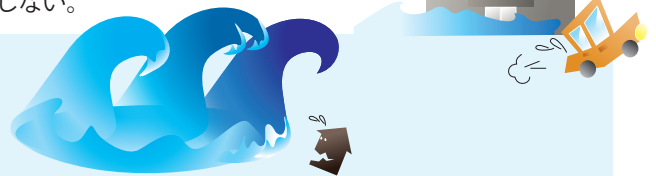


揺れが小さくても油断しない

- ・小さな揺れでも大きな津波になることもあるので、決して油断しない。

津波は繰り返し襲ってくる

- ・第1波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。
- ・2回、3回と繰り返し襲ってくる場合があります。



津波のスピード

- ・津波の伝わる速さは時速数百キロになる場合があり、津波が見えてからでは逃げきれません。



正しい情報で冷静な行動

- ・テレビやラジオ、防災無線などで正しい情報を入手し、冷静な行動をとりましょう。
※津波警報・注意報は、地震発生後約3分程度で発表されますが、津波はすぐにやってくることもあり、逃げるのは時間との勝負です。津波警報や注意報の有無に関わらず、揺れを感じたら直ちに避難しましょう。
- ・いざという時に備えて、津波の時の避難先や避難経路を調べておきましょう。町では津波避難ビル・津波避難場所の指定を進めています。指定場所は大磯町ホームページで確認できます。

津波警報・注意報の種類

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合には、地震が発生してから約3分を目標に津波警報又は注意報を発表しています。

種類	解説	発表される津波の高さ
津波警報 大津波警報	高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	3m、4m、6m、8m、10m以上
津波警報	高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒してください。	1m、2m
津波注意報	高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5m

防災無線放送

▶ 津波情報（津波警報、大津波警報）

▶ サイレン音 ➡ 「大津波（津波）警報が発令されました。海岸付近の方は高台に避難してください。」

※大津波警報のサイレン.....（ウ～ ➡ 3秒吹鳴 ➡ 2秒休止）

※津波警報のサイレン.....（ウ～ ➡ 5秒吹鳴 ➡ 6秒休止）

サイレン音が聞こえたらすぐに高台に避難しましょう